

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成21年9月25日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872100904		
法人名	医療法人 健晴会		
事業所名	グループホームますおか内科	ユニット名	2階ユニット
所在地	〒312-0054 茨城県ひたちなか市はしかべ1-2-3		
自己評価作成日	平成21年6月15日	評価結果 市町村受理日	平成21年9月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	まだありません
-----------------	---------

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内
訪問調査日	平成21年7月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

経営理念である、利用者のその人らしさを尊重し、笑顔を大切に、職員一同取り組んでいます。
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を玄関ホールに設置し、申し送り時等に確認をしながら。日々のケアに取り組んでいる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や日光浴の際、挨拶等で交流している。ホームの花壇や周囲に花を植えており、手入れの際、声をかけ合ったり花を分けてもらっている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在までの経験、自習で得た成果を地域に伝えられるように働きかけている。お便りやパンフレットを地域周辺に置いていただいている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの状況や行事等、写真を見て頂きながら話し合いを持っている。行政や地域の方から、アドバイスをいただきサービスの向上に取り組んでいる。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月の利用状況を報告すると共に、法律の改正時や新たな情報があった時には連絡をとっている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わず、見守りと観察を行っている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間で虐待についての意識を高め、全体会議時に話し合っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者、個々に必要な場合はそれらの制度を活用できるように認識を深め、勉強会を行っていく。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約及び解約時の際は、家族、利用者に必要な説明を行い、理解・納得が得られるよう努めている。疑問、不安な点はいつでも声をかけて頂けるように説明している。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	受付では、相談や苦情を随時、受付窓口にて受け付けていることを入居時に説明している。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は毎月行う全体会議や日々の申し送りなどの中で意見交換や情報交換をし業務に反映させるように努めている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準の保持や労働時間の厳守などを管理し、働きやすい職場の整備に努めている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日常的なケアからも学習し、自ら成長へつなげられるように指導している。カンファレンス等で意見交換、助言し勉強会も行っている。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	管理者や職員は研修会等への参加で同業の方々と交流を深め、情報交換をする機会とし、質の向上につなげている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談を受けた際、記録、フェイスシートを作成し、求めている事実をできる限り把握するように心がけている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人の訴えと同時に家族の要望も聞き入れ、記録に残して困っていること、求めていることの把握に努めている。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた際、他のサービス利用も検討しながら、必要とする支援を見極められるように努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で利用者を人生の先輩ととらえ、敬意を払って接し、出来ることは行ってもらいながら関係を築いている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時などに近況報告等でコミュニケーションを心がけ、一緒に本人を支える関係を築いて行けるように努めている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	本人や家族から生活歴を聞き、馴染みの人たちが訪問していただけるように声をかけている。理美容院等馴染みの場所がある方は、家族の協力を得て出かけられるように支援している。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やテーブルを囲んでの団欒がスムーズに行えるように、職員が間に入り、話題提供などを行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も、いつでも相談できることを伝え、連絡を取り合えるように努めている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	介護計画作成の流れの中で、本人の意向の把握に努め、希望に沿った支援が出来るようにケアプランを検討している。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族とのコミュニケーションや行動の観察、にて利用者一人ひとりの生活歴、生活環境を把握できるよう心がけている。
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりに起きた出来事、心身状態・有する力(出来る事、出来ない事など)について観察したことを、記録に残し、現状を総合的に把握できるように努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンス時に管理者、計画作成担当者、介護スタッフと課題を検討し、現状にあったケアの方を話し合い計画を作成している。
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個別の記録に残し、申し送りにて情報を共有し介護の実践や介護計画の見直しに活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のその時々変わる要望に答え、事業所の多機能性を考え活かせるように努めている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	医療機関、ボランティアや消防署の協力が得られている。今後も協力を働きかけていく。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医療機関を把握し、必要時は家族と相談をし受診できるようにしている
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医師、訪問看護師と連携を図り、健康管理に努めている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、必ず職員が付き添い情報提供、交換を行い、ケースワーカーと相談し退院に向けて話し合っている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居経過や状態により本人や家族の意向を聞き、医師、関係者で話し合いをして変化に対応した支援が出来るようにしている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の手当て、事故発生時の初期対応についてマニュアルに沿って対応が出来るように職員間で知識を深めている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力も得られ、定期的に防災訓練を行っており、避難方法、留意点を確認している。消火器、警報機に関しても点検が行われ、使用方法を理解している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、プライバシーを保てるよう言葉遣いや対応に注意している。個人情報取り扱いに注意をしている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の自己決定を引き出せるようなわかりやすい説明、選択の方法、対応を心がけている。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事への参加や入浴、食事の時間等、出来るだけ本人の意思を尊重し、職員の都合を優先しないように配慮している。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしい身だしなみや服装に心がけている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者も職員とともに、それぞれが自分で出来る形で準備や片付けをしながら食事に関わっている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量チェック表の利用、利用者一人ひとりの水分量、おやつ摂取にも気を配り、状態に応じた支援が出来るように配慮している。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後うがい、歯磨きを行い、夜間は義歯を消毒している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表のチェックにより、個別の排泄パターンを把握し、さりげなくトイレ誘導を行っている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取と、おやつにヨーグルトを取り入れている。また体操で身体を動かす機会を多く取れるようにしている。困難な便秘のある利用者には医師が便秘薬を処方する。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一応曜日を決めてあるが、本人の希望、そのときの都合、タイミングにあわせて調整し、入浴できるようにしている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	覚醒時間、睡眠時間をチェックしている。日中はリズムのある生活を過ごしていただき、希望時は休息できるように配慮している。必要時は医師より利用者にあう眠剤を処方してもらっている。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報をファイルし、その都度薬剤師、看護師に説明を受けて、服薬の支援をしている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの出来る事、得意なことを見出し役割を持って張り合いのある生活を送っていただけるように心がけている。天気の良い日は戸外ベンチで日光浴をするなど気分転換できるようにしている。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の天候や体調も考慮しながら散歩等、外に出かける機会を心がけている。車での外出は事前計画を立て安全を確認のうえ、出かけるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族と一緒に、外出、買い物ができるように支援している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望時に施設の電話を使用しかけている。お正月には個々に年賀状を作成して郵送している。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>暖色系のカーテンや暖簾で明るく落ち着いた雰囲気をつくり、観葉植物や花を配置して心和む空間を作っている。また毎日の掃除によりいつでもきれいな清潔感のある共用の場所となっている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングや玄関先にベンチを置き、気の合った人同士で談話したり、一人になったりできるスペースを確保している。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にテレビや家具を完備しており、本人の私物が持ち込まれ、その人らしい部屋作りが出来ている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりを使用してトイレまで歩けるなど、安全な環境の中で個人の力が発揮できている。物の置き場所などは、利用者とその都度話し合い環境整備に努めている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1,ほぼ全ての利用者の 2,利用者の2/3くらいの 3,利用者の1/3くらいの 4,ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1,毎日ある 2,数日に1回程度ある 3,たまにある 4,ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1,ほぼ全ての家族と 2,家族の2/3くらいと 3,家族の1/3くらいと 4,ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1,ほぼ毎日のように 2,数日に1回程度ある ○ 3,たまに 4,ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1,大いに増えている 2,少しずつ増えている ○ 3,あまり増えていない 4,全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1,ほぼ全ての職員が 2,職員の2/3くらいが 3,職員の1/3くらいが 4,ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1,ほぼ全ての利用者が 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1,ほぼ全ての家族等が 2,家族等の2/3くらいが 3,家族等の1/3くらいが 4,ほとんどいない